

# 吉田小だより

富岡市立吉田小学校 校長 藤井 清一 N0.8 H30.9.21 発行

〒370-2464 富岡市南蛇井 275 TEL 67-2227

夢や希望をもち、学びいそしみ、  
心をみがき、いつも明るい元気な吉田っ子  
なかよく かしこく 元気よく

学校HP\_URL <http://yoshida-es.nc.tomioka.ed.jp/>

## 運動会特集

「ぼくらの力は無限大！優勝信じて かけぬけろ！」

作：大小原 佑哉（5年）



「ぼくらの力は無限大」とは、様々な課題に立ち向かう子どもたち自身の無限の可能性を表しています。また、「優勝信じて」は、夢が叶うよう自分を鼓舞するものです。前日とうってかわって秋晴れの晴天となり、予定通り開始できました。

赤団 高橋大和 緑団 鶴田輝一郎 白団 横田 想 くんら  
3人による選手宣誓



団長の元気な選手宣誓があり、校歌も上手く歌え、感動的な運動会の開会式となりました。

平成最後の運動会にふさわしい引き締まった雰囲気の開幕となりました。

## ダンス・踊り

1・2年 Good Lucky (グッキー！)

3・4年 七月 イイサー

5・6年 吉田ソーラン ~咲く~



「1・2年生のダンスは、ずるい。」と思わず言ってしまうほど素敵でした。なぜなら、とても楽しそうに一生懸命踊るのでから。

来賓の方の中には、子どもたちのダンスがあまりに可愛いので、感動で涙を流されていました。



3・4年生の動きはこんなにもキレがいいのかと感動しました。衣装もカラフルで、沖縄に行ったような気持ちにさせてくれました。太鼓のリズムと手と足がスツとのびて、見ている方が思わず動きたくなりました。

<コラム> 明治7年、東京築地にあった海軍の兵隊を育てるための学校で、初めて運動会が開催されました。これが日本で最初だと言われています。今から140年以上の歴史があるようです。学習指導要領の特別活動編では、運動会の目的は、「集団行動」「チームワーク」「体力向上」など、いくつかのねらいが定められています。

昔の運動会は、騎馬戦、棒倒しなどちょっと危険な種目がありましたが、現代は、リレーや徒競走、ダンスや踊りがメインです。明治から始まった運動会ですが、平成30年の今年の運動会は、「平成最後の運動会」です。子どもたち一人ひとりにはそれぞれの目標があり、また保護者の方々にも子どもたちに対する期待があったと思います。その期待に応えようと一生懸命に演技する子どもたちの姿に感動しました。子どもたちの「ひたむきな」「ひたすらな」演技です。「運動会が好きだという気持ち」、「運動会が楽しいという気持ち」が所作に現れるので、可愛らしい、かっこいい、それが素敵なのです。この日味わった時間と空間、目に焼き付けた映像と音、記憶に残る運動会になりました。

## 平成ラスト 吉田ソーラン ~咲く~

1985年、北海道稚内市立稚内中学校を発祥とするソーランの踊りは、ニシン漁の動作をアップテンポにアレンジした踊り用のソーラン節である、全国に広まり今では、学校名をつけて〇〇ソーランとして伝えられている。

平成ラストであることは間違いない。子どもたちにとっては最初で最後である。



副題に「咲」の漢字が当てられている。今年の学校経営方針の「置かれた場所で花をさかせよう」



「咲かせた花で、花いっぱい学校にしよう。」を受けてのものだと信じている。



百花繚乱の花が咲き乱れ、踊りのエンディングでは、大輪の花が咲きました。感動しました。

※ 学校 Web ページには、カラー版 (PDF) が掲載してあります。



## 4・5・6年 マーチング



ドラムメジャー（主指揮）は金井柚菜さん  
太鼓は太田朝陽くん、小野澤柚伎くん、横田想くんら、  
トランペットは鶴田輝一朗くん、横田礼牙くんら、  
トリオは石井暉八くん、シンバルは高橋大和くん。

今年、ベレー帽を採用しました。初めてかぶった子どもたちもいる中、かっこよく着用しているのがうれしくなりました。水色のスカーフとコーディネートして、まるで、白い雲と青空のように、さわやかなマーチングになりました。カラーガードは、梅澤祐里奈さん、横尾百南さんら4人。4人は、ベレー帽とスカーフが紺色です。

キーボードは、高山鈴音さん、田村小春さん、浅川結真くん、渡辺大雅くんら、鉄琴・木琴は、小柴ひなのさん、松本蓮くんです。

鍵盤ハーモニカは、五十嵐康介くん、尾島美咲さん、浦野陽光くんらを中心に4・5年生を含む大勢の演奏者です。



## 運動会名場面集



5・6年 山あり・谷あり



団の全員で綱引き



成績発表 優勝を祈る…が、



優勝は、「赤団」喜ぶ赤団  
成績発表担当の先生が、「白団の得点418点、赤団の得点420点、優勝は赤団。」と発表しました。

優勝の行進が済むと、赤団団長の高橋くんは、優勝旗を白団団長の横田くんにそっと渡しました。きっと、高橋くんの「思い」は、横田くんに伝わったことでしょう。



リレー アンカーは、団長



優勝旗を手にする赤団



優勝旗持っていよいよ